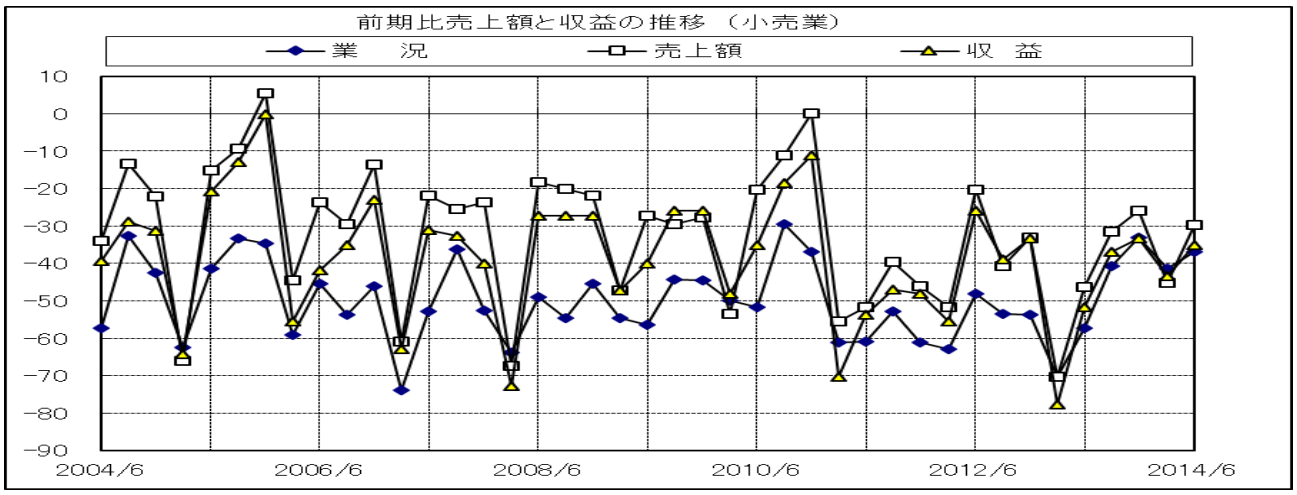
小　売　業　54企業（回答率100%）の調査結果です

□ 景　　況

DI値の推移	10~12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業　況	-33.2	-41.5	-37.0	-42.6
売上額	-25.9	-45.3	-29.7	-33.4
収　益	-33.3	-43.4	-35.2	-31.5

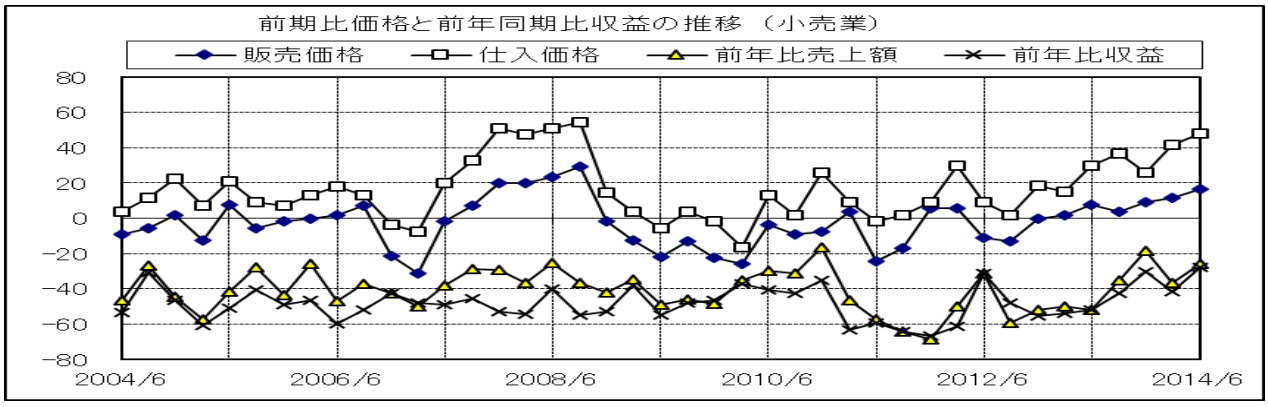
今期の業況判断ＤＩは△37.0と、前期比4.5ポイント上昇した。地区別のＤＩは、高い順に静内、広尾、様似、三石、えりも、浦河となった。業況判断ＤＩは、前年（△57.3）比20.3ポイントの上昇となった。売上額判断ＤＩは△29.7と、前期比15.6ポイント上昇した。収益判断ＤＩは△35.2と、前期比8.2ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI値の推移	10~12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	9.3	11.4	16.7	1.9
仕入価格	25.9	41.5	48.1	18.5

販売価格判断ＤＩは16.7と、前期比5.3ポイント上昇した。仕入価格判断ＤＩは48.1と、前期比6.6ポイント上昇、価格上昇基調を強めた。販売、仕入価格は前年比でも9.2、18.5ポイントそれぞれ上昇した。業種別にみると、衣料品の販売価格は下降、仕入価格は上昇となった。食料品、家電品は販売・仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI値の推移	10~12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-9.3	-17.0	-20.4	-16.7
人手状況	-7.4	-15.1	-5.6	-11.1

残業時間判断ＤＩは△20.4と、前期比3.4ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断ＤＩは△5.6と、前期比9.5ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

□　設備投資の動き

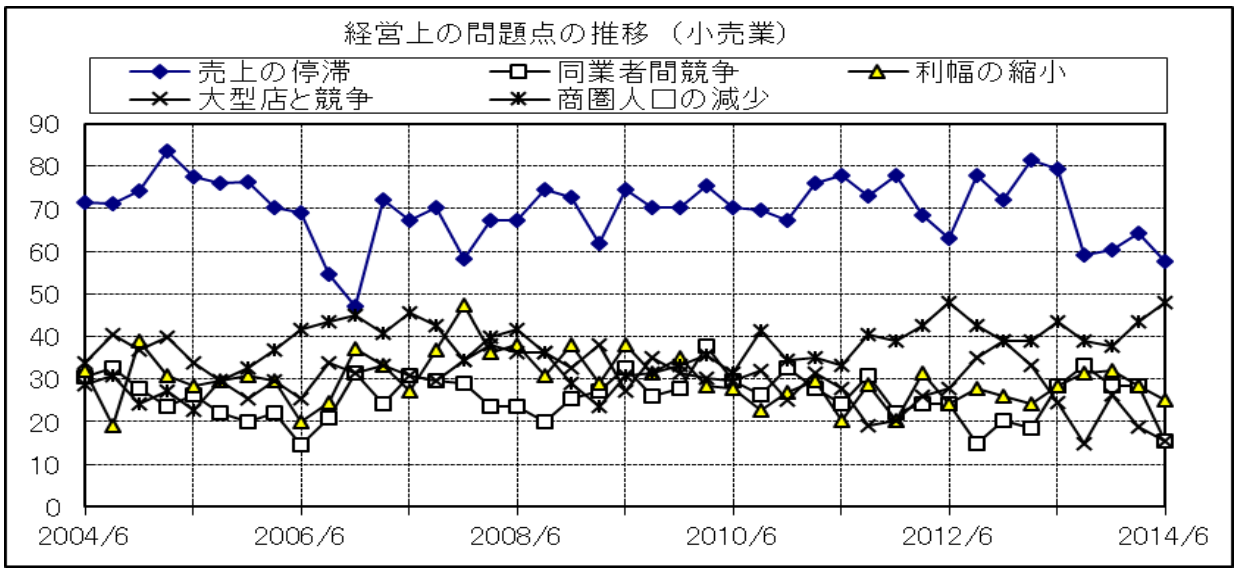
設備投資の充足感を示すＤＩは△9.2と、前期比1.7ポイント下降した。

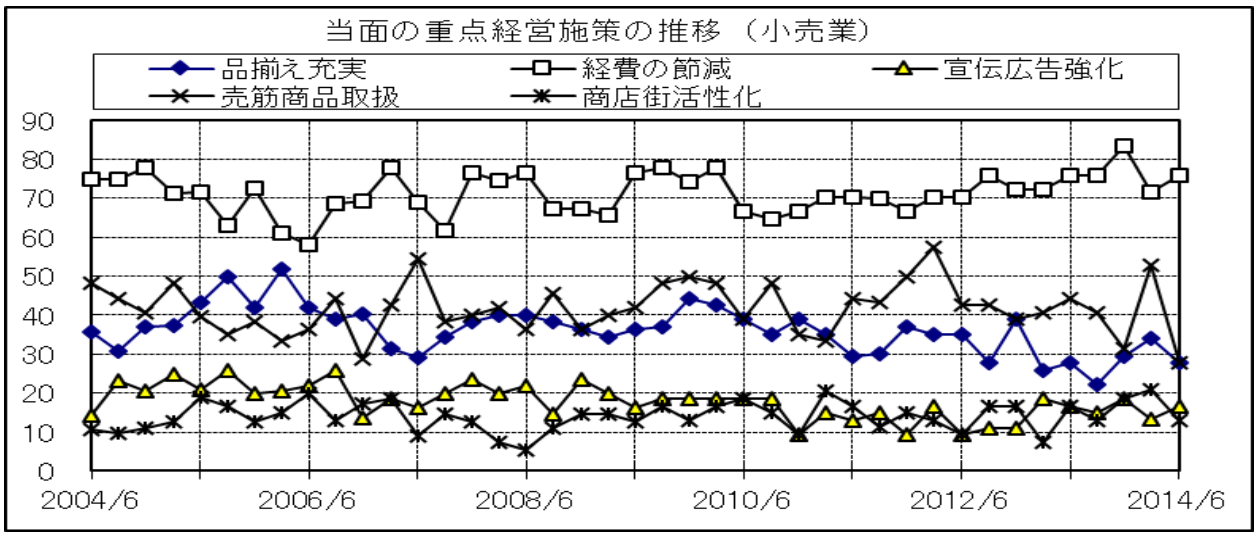
設備投資実施企業割合は9.3で、前期比2.0ポイント下降、前期の6社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ 57.7%、次いで「商圏人口の減少」48.1%、「利幅の縮小」25.0%、「値上げの要請」が19.2%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ75.9%、次いで「品揃えを改善する」「売れ筋商品取扱い」が同率の27.8%で続いた。「宣伝広告の強化」は16.7%、「仕入先を開拓選別」は14.8%となった。





□　来期の見通し

来期の予想業況判断ＤＩは△42.6と、今期比5.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断ＤＩは△33.4と、今期比3.7ポイントの下降を見通している。

予想収益判断ＤＩは△31.5と、今期比3.7ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断ＤＩは1.9と、今期比14.8ポイントの下降を見通している。

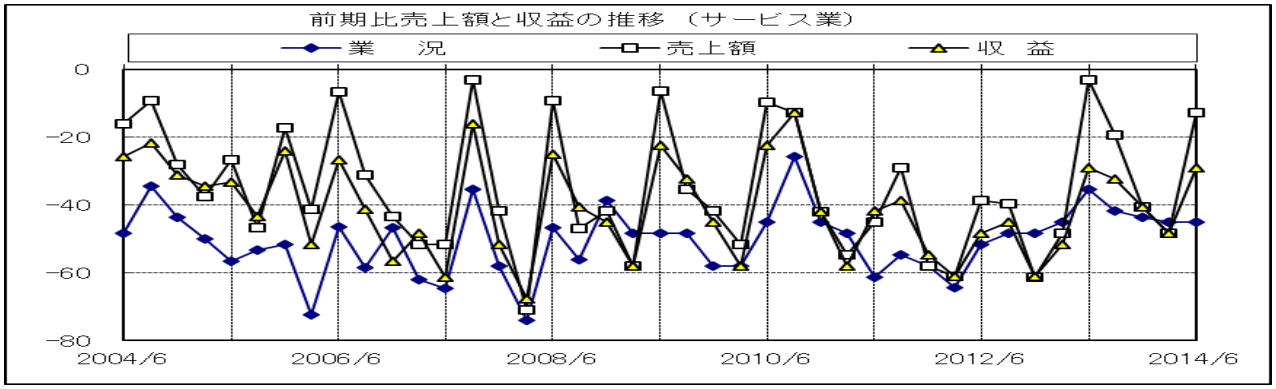
予想仕入価格判断ＤＩは18.5と、今期比29.6ポイントの下降を見通している。

サービス業　31企業（回答率100.0%）の調査結果です

□　概　　況

DI値の推移	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し
業　況	-43.7	-45.2	-45.1	-41.9
売上額	-40.6	-48.4	-12.9	-35.5
収　益	-40.6	-48.4	-29.0	-42.0

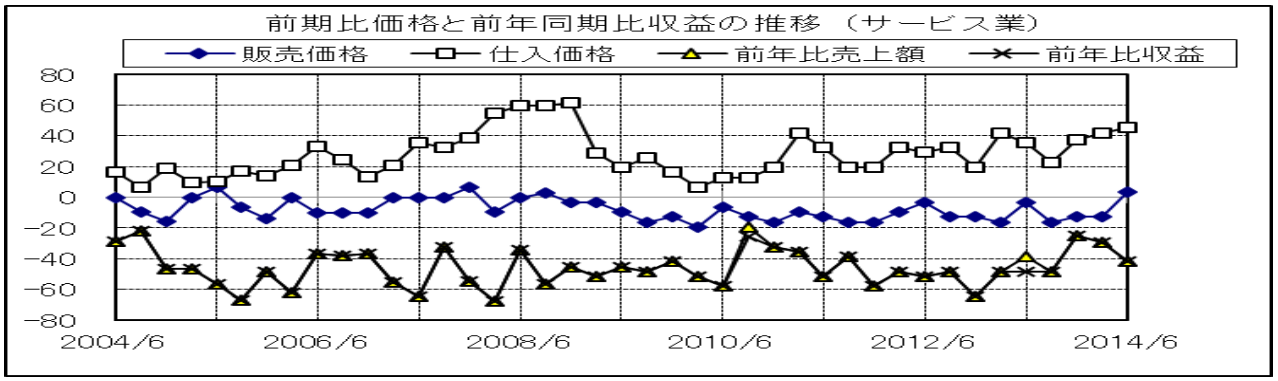
今期の業況判断ＤＩは△45.1 と、前期とほぼ横ばいの水準となった。地区別のＤＩは、広尾が最も高く、次に浦河、静内、三石・えりもが同値で並び、様似は最も低い水準となった。前年（△35.5）比では9.6ポイントの下降となった。売上額判断△12.9、収益判断△29.0 は前期比35.5、19.4ポイントともに上昇した。



□　価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI値の推移	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し
料金価格	-12.4	-12.8	3.3	-6.5
材料価格	37.6	41.9	45.2	35.4

料金価格判断ＤＩは3.3と、前期比16.1ポイント上昇した。材料価格判断ＤＩは45.2と、前期比3.3ポイント上昇した。料金価格は前年比で6.6ポイント上昇した。材料価格は同比9.7ポイント上昇した。業種別にみると旅館業・洗濯理容業は、料金価格、材料価格はともに上昇。自動車整備業は料金価格で横ばい、材料価格は上昇となった。



□　雇用面の動き

DI値の推移	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期実績	7~9月期見通し
残業時間	-12.5	-16.1	-22.7	-12.9
人手状況	-12.5	-6.5	0.0	-6.4

残業時間判断ＤＩは△22.7 と、前期比 6.6ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

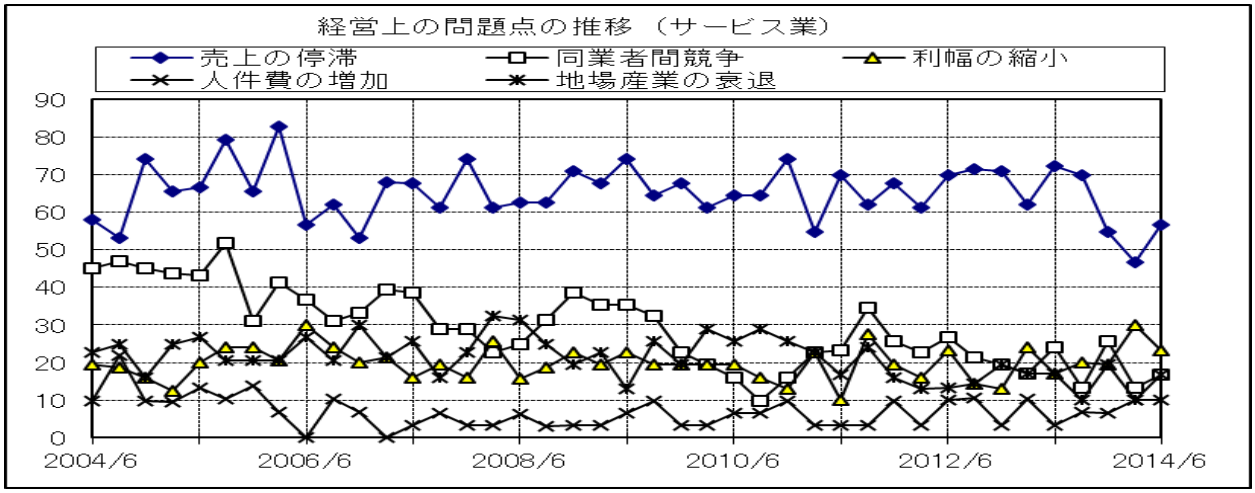
人手過不足判断ＤＩはゼロ水準と、前期比6.5ポイント上昇し人手不足感は解消された。

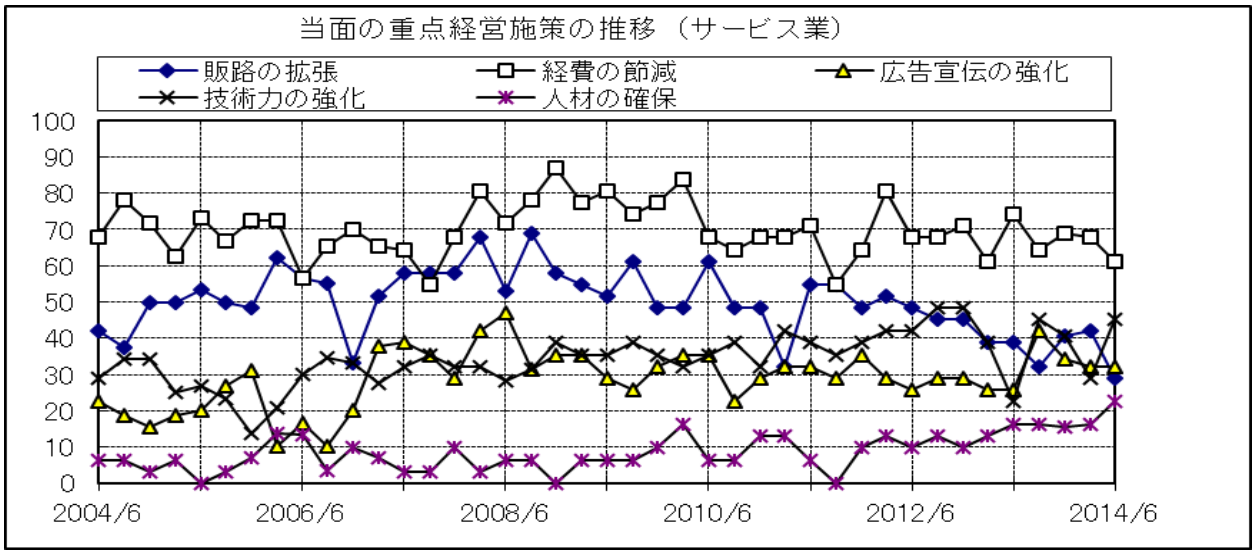
□　設備投資の動き

設備投資の充足感を示すＤＩは△6.5と、前期比3.1ポイント上昇し不足感を弱めた。
設備投資実施企業割合は29.0と、前期比16.1ポイント上昇、前期の4社に対し9社の実施となった。
来期の設備投資は、7社の予定となっている。

□　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ56.7%、次いで「商圏人口の減少」46.7%、「材料価格の上昇」40.0%、「利幅の縮小」が23.3%で続いている。
重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ61.3%、次いで「技術力を強化する」が45.2%、「宣伝広告の強化」32.3%、「販路を広げる」29.0%の順となっている。





□　来期の見通し

来期の予想業況判断ＤＩは△41.9と、今期比3.2ポイントの上昇を見通している。
予想売上額判断ＤＩは△35.5と、今期比22.6ポイントの下降を見通している。
予想収益判断ＤＩは△42.0と、今期比13.0ポイントの下降を見通している。
予想料金価格判断ＤＩは△6.5と、今期比△9.8ポイントの下降を見通している。
予想材料価格判断ＤＩは35.4と、今期比9.8ポイントの下降を見通している。